

先日はてがたんにご参加いただきありがとうございました。てがたんの観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回3月の「てがたん」は3月12日(土)で「土と生き物」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。  
\*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは3月5日(土)です。よろしくお願いいたします。

## 2月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→水の館展望台→漁協前→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2016年2月13日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 参加者 8人 (一般8人)
- 市民スタッフ 7人 (伊東茂子、大嶽若緒、木村 稔、染谷迪夫、竹本周平、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 1人 (塩田いづみ)

## 観察記録 - 2月てがたんで観察した生き物リスト-

### 【鳥類】

カモ科：カルガモ、オナガガモ/カイツブリ科：カイツブリ、カンムリカイツブリ/ウ科：カワウ/サギ科：アオサギ/クイナ科：オオバン/  
カワセミ科：カワセミ/モズ科：モズ/カラス科：ハシボソガラス/シジュウカラ科：シジュウカラ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/  
ムクドリ科：ムクドリ/ヒタキ科：ツグミ、ジョウビタキ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：セグロセキレイ/  
ホオジロ科：ホオジロ、オオジュリン/外来種や家禽：コブハクチョウ、ドバト

### 【花】

キク科：セイヨウタンポポ、ノボロギク/シソ科：ホトケノザ、ヒメオドリコソウ/オオバコ科：オオイヌノフグリ/  
ツバキ科：ツバキ/バラ科：ユキヤナギ/アブラナ科：ナズナ/ナデシコ科：オランダミミナグサ/ミカン科：カラタチ/ヒガンバナ科：ス  
イセン/カバノキ科：ハンノキ、ヤマハンノキ

### 【実】

ミズキ科：アオキ/クスノキ科：クスノキ

### 【昆虫】

カマキリ科：カマキリの仲間(卵鞘)/ワタフキカイガラムシ科：イセリアカイガラムシ/カタカイガラムシ科：カメノコロウムシの仲間

### 【キノコ】

サルノコシカケ科：カワラタケ

## 2月の観察アルバム



今回のがたんのテーマは「冬の散歩道②」でした。2月とは思えないほどあたたかな陽気でした。水の館の展望台に上がり、我孫子の地形の特徴をよく見る事ができました。



今月の案内人 伊東茂子さん



① 稲の二番穂の中身はほとんど入っていませんでした。



② ヌルデの実には鳥にほとんど食べられていました。



③ ユリノキは北アメリカ原産で、日本には明治初期に入ってきました。



④ 水の館展望台から見た手賀大橋。橋が水面に映って鎖のように見えます。

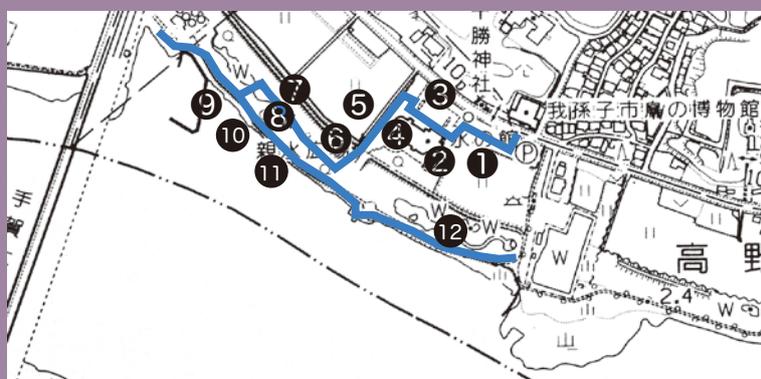


⑤ 展望台から畑にいるツグミが見えました。



### 2月のタンポポ

芝生広場に、茎を伸ばさずに咲くタンポポがいくつもありました。



### 2月のがたんの観察生物とルート



### アカシデの虫こぶ

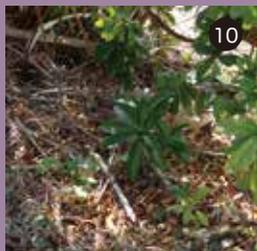
アカシデの芽にダニの仲間が入り込み、虫こぶを作っていました。



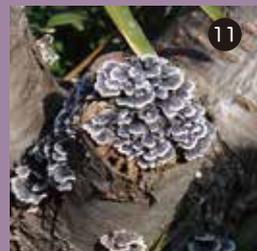
⑧ チョウセンカマキリと思われる細長い卵鞘。穴があいて被害されていました。



⑨ 遊歩道に植えていないシュロが繁っています。実を食べた鳥が運んだと考えられます。



⑩ 植栽のツツジの中に、マンリョウを見つけました。これも鳥が運んだでしょう。



⑪ サクラに紫色の美しいカワラタケが生えています。



⑫ ハンノキの雄花から、黄色い花粉がでていました。

## 鳥の寒さ対策

### ・綿羽による断熱効果

羽毛の一番下の層にある綿羽は、内包する空気を増やし、空気の層を作る事で断熱効果を高めています。

### ・体温を下げる

鳥類の体温は日中では数℃変化し、夜間ではかなり低下しています。多くの鳥は夜間に体温を6℃下げ、非常に寒い夜ではさらに下げる事ができます。

### ・脚部へ送る血液量を調整できる

鳥類の動脈と静脈は脚部と胸部のつなぎ目で絡み合っており、体の中心部から動脈血が運んできた熱が静脈血に移る場となっています。脚部へ送る血液量を90%以上減らすことができ、体温低下を防いでいます。

